

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社 なごみの部屋	事業所名	看護小規模多機能型事業所 ケアコンシェルジュ和
所在地	(〒 992-0039) 米沢市門東町2丁目 8-34		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<p>少人数による通いサービスの中ではアットホームな環境をご提供できるよう心掛けています。お誕生日会や季節ごとの催し物、作品制作などは特に力を入れて明るくて温かいと感じていただけるよう職員一同頑張っています。</p> <p>訪問介護や訪問看護の場でも熟練した職員による適切なサービスをご提供できます。</p>
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 8 月 2 日	従業者等自己評価 実施人数	(9) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 12 月 3 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2 人) <input type="checkbox"/> その他 (____ 人)			

1

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)			
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32~41)		
III. 結果評価 (評価項目 42~44)			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機の特徴である医療依存度が高い方の利用が多いため、個別での特徴を理解する必要がある。 ・ヒヤリハットの事例の共有を行い、定期的にKY活動を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境の継続 ・テーマを設けて、計画的な勉強会の実施 ・12月に事業所の目標に対する反省と来年度の目標計画を設定する。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに情報共有を行うために必要な方法を再検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型事業所の特徴を再度学び、理解を深める。 ・外部訪問へ定期的に同行し、ケア内容の確認と指導を行う。 ・訪問看護未利用者と医師との連携を図るためにケアマネからの情報を適宜提供していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関との連携はうまく取れているので、今後も継続できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの徹底の継続 ・医療機関との連携も継続 ・運営推進会議が紙面となっているので、分かりやすく情報を発信していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に毎月の活動を知ってもらうために回覧板の活用も考慮していく。 ・痰の吸引のできる介護職員の育成を行っていく必要がある。 ・近隣の民生委員等から地域の実情についてのヒヤリングの機会を設けていくことが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への行事の参加を行ったり、地域との関りをもつ。 ・認知症カフェなど、サロンや相談の場をつくる。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時・24時間対応を行っているが地域に根差されていないので広く知ってもらうために活動を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職、看護師がケアの質の向上とスキルアップを図る目的で勉強会や研修に取り組んでいく。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			◎理念が明確化されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			◎定期的な学習の機会を設けていただきたい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			◎適宜、計画の達成状況を点検していただきたい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 計画を作成し全ての職員が目標を定め、それに向けて研修などに参加しているが、新たな追加研修に関しては提案して受けるよう促している。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			◎研修参加時間をどのように確保するかを研究していただきたい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 毎年研修計画を作成している。その他に、自己研鑽にて受講されたり、興味や必要のある分野への研修参加については、参加を促している。 今年度はweb研修が主体となっている。					

5

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			◎多職種の多い事業所であるからこそ情報の共有は欠かせない事と思う。今後も継続してほしい。 ◎ケース検討はとても良い取り組みなので継続して行ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 毎月、ミーティングで介護職、看護職、リハビリ職、ケアマネとの間で、利用者のケース検討を行っている。 また、毎日申し送りで情報の共有を行っている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 議事録を確認。 会議で伝達。					

6

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できて いる	あまり できて いない	全く できて いない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			◎今度どの様なアプローチで問題解決を行っていくのか ◎個人面談も多く行っており職員の方も安心して働けているように思います。 ◎特定のスタッフに業務が集中したり負荷がかかったりする事のないような職員体制を整えていただきたい。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			◎連絡帳、日誌の内容をスタッフ全員が確認していることをチェックできる仕組みを構築していただきたい。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します

7

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できて いる	あまり できて いない	全く できて いない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			◎ヒヤリ・ハット事例の共有、定期的な『KY』活動を行っていただきたい。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○				✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

8

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<p>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>	
		[具体的な状況・取組内容] 訪問時には必ず家族のアセスメントも行っており、サービスに生かせるようにしている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている			○		<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>	
		[具体的な状況・取組内容] 身体状況に関して、介護職もアセスメントを行うが、細かいところは看護師のアセスメントに頼るところが大きいので、もう少し学びが必要となっている。その反面、趣味や嗜好、生活に関するアセスメントは介護職がうまくできている。				<p>◎共有できなかった事の問題解決策を考えて下さい</p> <p>◎タブレットを利用した情報共有の仕組みを今後検討していただきたい</p>	

9

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>	
		[具体的な状況・取組内容] 利用者、家族の思いが反映されている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>	
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者によって個人差があるが、ご本人・ご家族の意向も確認しながら、できる事やチャレンジ出来そうな事を計画している。				◎適切に実施されている	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 看護師も含めたリスク管理や予後予測になっている。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 定期的に訪問し、ご本人とご家族の意向と生活状況を把握して、サービスに反映させている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者とご家族との面談により、生活状況を把握し、急な変更にも対応できるように行っている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○	○		◎訪看未利用者との連携をさらに深めるための具体策を考えるべき ◎ケアマネとの情報交換・共有の仕組み作りが必要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 訪問看護利用者に関しては、医師との連携が取りやすく、情報共有ができています。ただ、訪問看護を利用されていないケースだと、医師へはケアマネからの報告となり、指示受けが無くその後の繋がりがしにくい状況にある。 (おおよそできていると、あまりできていないがほぼ同数でした)					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている			○		◎職員全員が同じケアを行わなければならない。今後も報連相をしっかりと行い情報の共有を行ってもらいたい。 ◎介護職と看護職の情報共有が大切な事業所であると思う。今後も共有が継続できるよう検討して頂きたい。 ◎『報連相』の重要性を繰り返し教育していくことと、情	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		職種の違いで意見の相違があるが、会議を通じて方向性を話し合い、役割分担が行えていると思われる。					
		[具体的な状況・取組内容]					
		朝礼夕礼やその都度報告を受け、情報の共有と対応策を検討している。紙面でも報告をしているが、スタッフにより違いがあるために確認が必要になっている。必ずノートの確認と、報連相をしっかりと行うようにと努めている。					

13

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
(2) 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		見学时、契約時に分かりやすく話し、確認しながら説明を行っているが、理解されていないと感じた時はその都度話をしている。					

14

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			◎適切に実施されている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者、ご家族の意向を確認しながら計画を説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			◎適切に実施されている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護師の指導の下、不安な点を解消できるように対応しており、出来ている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			◎訪看として今まで行っている事なので、事業所としての強みになっていると思う。 ◎終末期の対応について検討しておく必要がある。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 今のところ、看多機として終末期の方はおられないが、訪問看護の利用者においてはしっかりと行えているので、看多機利用者でも行えると思う。					

15

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			◎適切に実施されている	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の状態によって、定期的に検討しており、ご家族の意向も確認しながら支援の方向性を決めている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			◎適切に実施されている	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] 看多機としてのご利用者では終末期のケアの方はいないが、訪問看護でのご利用の方は、看取りに関して利用者のご意向を確認したうえで、過ごし方や今後の経過、対応についてなど丁寧に説明し、スタッフ間でも情報の共有を行っており、どのスタッフでも対応ができる。					

16

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			◎適切に実施されている。退院時カンファレンスへの参加はとても重要なので継続して行っていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

17

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			◎緊急時対応の体制がしっかりと取られており、適切に実施されていることは高く評価できるので継続してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

18

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおそ できて いる	あまり でき ていな い	全く でき ていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている			○		◎職員ミーティングの場 でも活用して下さい	✓ 「誰でも見ることができ る方法での情報発信」と「迅速な情報 発信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容] 事務所にて誰でも見られる様にファイリン グしている。					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極 的な啓発活動が行われて いる			○		◎一施設が今の状況で地 域に出るのは難しさがある と思う。町内会や民生委員 会等との接点を作るのは 行政の役割だと思う。 ◎毎月の活動など地域 の方へ知っていただくよう 回覧板の活用を考えては どうでしょうか ◎適切に実施されている	✓ 「積極的な啓発活動」 について、評価する項目 です ✓ 例として、「チラシ等 の配布」や「地域説明会 の実施」などの取組が考 えられます。 ✓ 利用者や職員の確保 のみを目的とした活動等 は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ホームページに活動案内 を載せている。チラシを 作製し配布している。					

19

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおそ できて いる	あまり でき ていな い	全く でき ていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居 宅介護事業所の登録者 以外を対象とした訪問 看護を積極的に実施 している	○				◎終末期対応は今後 ますます需要が出てく ると思われることから 体制の強化を期待し ています。	✓ 「指定訪問看護事業 所の指定を併せて受 けている事業所」のみ が対象です。該当し ない場合は、実施状 況欄は無記入で、 [具体的な状況・取 組内容]欄に「指定 なし」と記入して ください ✓ 「登録者以外を対 象とした訪問看護」 を実施していない場 合は、「全くできて いない」 ✓ 「あまりできて いない」～「よく できている」は、そ の「積極性」の視 点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容] 積極的に行っており、 終末期の対応や看 取り、リハビリも 対応している。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要 とする要介護者を 受け入れることが できる体制が整っ ており、積極的に 受け入れている			○		◎たん吸引のできる 職員の育成と必要 とする利用者様の 受け入れ計画を考 えてほしい。 ◎今後の具体的な 研修計画はあり ますか。 ◎人材不足の中 で難しいと思 います介護員の 研修	✓ 「積極的な受け 入れ」について、 充足度を評価し てください ✓ 「受け入れる ことができる体制」 が整っていない 場合は、「全く できていない」 ✓ 「あまりでき ていない」～ 「よくでき ている」は、そ の「積極性」の 視点から、充足 度を評価しま す
		[具体的な状況・取組内容] 医療依存度の 高い方の受け 入れはでき るが、痰の 吸引に関し てはまだ 介護員の 体制が できて いない。					

20

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
				○		資格取得に力を入れていた いただきたい。	
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		◎今後の課題として捉えて 対応していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

21

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		<ul style="list-style-type: none"> ◎理解するための研修計画はありますか。 ◎職員研修の際に市の担当者を講師に招いたセミナーを実施されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			◎適切に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

22

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている				○	<p>地域としても(例えば町内会)施設をもっと身近に感じたいと思っている。地域と施設の橋渡しのきっかけを作るのは行政の役割だと思う。関係機関にそれを望みたい。最初のきっかけが大事だと思う。</p> <p>◎現在考えている計画案はありますか。</p> <p>◎近隣の民生委員等から地域実情についてヒアリングの機会を設けてはどうでしょうか。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			<p>◎南部地区において今後行う計画はありますか</p> <p>◎事業所を知ってもらうために近隣住民に対して情報提供が必要と思われます。</p> <p>◎認知症カフェへのボランティア参加の奨励など地域住民参加の仕組みを構築し</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整え</p>

23

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						<p>ていくことはとても重要だと思います。</p>	<p>ていくなどの役割も期待されま す</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

24

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 利用者のニーズに合わせて支援し、カンファにて対応方法の見直しを行っている。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 緊急時の対応を行っているので、24時間電話対応や必要に応じて看護師の訪問を行っている。また、注意点や対応について、全スタッフと共有している。	◎素早く緊急時の対応が出来ていることは素晴らしい事ではあるが、まだ地域に根差されていないので今後の活動に期待していきたい。 ◎24時間対応して下さい。為利用者本人その家族も安心して生活できていると思われます。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない ⑤. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 今のところ、看多機としての看取りのご希望の方はおられないが、受け入れできる体制になっているので、看多機の情報提供をしていきたい。		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」